

# Dr.ほんなの 保険倶楽部® VOL.9



本名 稔

シニアリスクコンサルタント®  
(NPO法人日本RM&C協会No.22133)

シニアリスクコンサルタントとは、NPO法人日本RM&C協会により認定される資格である。シニアリスクコンサルタントは同協会の登録商標である。商標を使用するにあたっては、同協会にシニア会員として入会しなければならない。

フィナンシャルプランニングはもとより、個人の生活・企業の経営におけるあらゆる場面でのリスクに対してコンサルティングを行い、アドバイスを提供すること。リスクマネジメントの専門家。

こんにちは、ドクターほんなです。  
4月はイロイロな始まりの多い季節ですね。  
今月は金融機関の「社名変更」についてご紹介します。  
みなさんはどのようにお感じになりますか？

## 保険倶楽部® が、その疑問に お答えします!!

「保険倶楽部」は、取扱保険について  
安心してプロに相談できる窓口です。  
[出張保険倶楽部]も受付中!!

<http://www.hokenclub.com>

“無料相談”だからといって、無理に  
おすすめするわけではありません。

- お子様づれでも結構です。ご家族でも、  
お一人でもご相談ください。
- あらかじめ日時を“予約”いただくことで、  
ゆっくりとお話をおうかがいいたします。
- ご加入の保険会社に関わらず  
ご相談ください。
- 保険額の大小にかかわらず、“モヤモヤ”を  
ご相談ください。

<生命保険会社>アリコジャパン、アメリカンファミリー、ソニー生命、  
日本生命、東京海上日動あんしん生命、損保ジャパンひまわり生命、  
アイエヌジー生命、AIGエジソン生命、東京海上日動フィナンシャル生命、  
あいおい生命、AIU保険会社、東京海上日動火災、損保ジャパン、  
三井住友海上、ニッセイ同和損保、セコム損害保険、あいおい損保

4月の無料相談日						
日	月	火	水	木	金	土
				①	②	③
④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛

至梅番トンネル 至水戸駅南口  
千波湖  
水戸市役所  
会田美術館  
ローン  
保険倶楽部  
県民文化センター

① 10:30~② 13:30~③ 16:00~④ 18:30~  
上記以外でも、ご相談承ります。ご希望の日時を電話にてお申し込みください。  
水戸市千波町727-1 石川ビル1F

ご予約の 月~金 TEL029-222-2211  
お電話は 土・日 TEL029-240-2332

株式会社 ライフ総合研究所  
水戸市泉町3-1-28 第2中央ビル5階

★金融機関の「社名変更」とは：  
県内の銀行でも合併に伴う「社名変更」がありましたし、保険会社でも同様に「社名変更」がされる場合があります。  
郵政民営化によって「簡易保険」も「かんぽ生命」になりましたね…  
単純に社名だけを変更することもありますが、合併や組織再編、事業譲渡などによって「社名変更」されるケースが多いようです。  
馴れ親しんだ名称が変わることに違和感を感じることもあるでしょうが、新たな「はじまり」でもあります。  
銀行や保険、証券などの金融機関の場合、「社名変更」があると、何となく不安を感じられる方もいらっしゃるようですが、金融機関の自身の健全性に問題がなければ、実は大きな問題ではないかもしれません。

★金融機関の「セーフティネット」は：  
一時期、銀行等が破たんした場合の「ペイオフ」について話題になった時期もありましたが、金融機関が破綻してしまつた場合には、それぞれ「セーフティネット」が準備されています。  
銀行であれば「預金保険機構」、保険会社であれば「生命保険・損害保険契約者保護機構」など、一定の要件を満たす契約については、仮に金融機関が破綻してしまつた場合にも、無一文や紙クズにならない仕組みが整備されています。  
ただ、以前破たんした生命保険会社の中でも、大きく保障を減額された方と、さほど変りなかった方もいらっしゃるようです。  
高利回り（予定利率の高い）貯蓄性のプランほど、減額される幅が大きくなつたようです。  
紙クズにはならないとはいえ、破綻（倒産）しない方が望ましいですが…

★やはり中身が大切：  
イロイロな情報があふれています。情報にしても、契約でも、大切なのはそれぞれの「中身」を正しく把握することでしょうね。  
ただ、金融機関の健全性を正確にハカする基準や情報を入手することは難しいかもしれませんね。  
いずれにせよ、大切な資産や保障ですから、必要以上に不安になつたり、真偽が確かでない情報に踊らされることのないようにしたいですね。  
保険の場合では、「契約の中身」（契約内容）が重要なのは間違いないですが…  
“正しく”知って、“適切に”備えることが安心につながりますね。  
大切な保障と、保険料ですから…